



2025年1月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年6月13日

上場会社名 Japan Eyewear Holdings株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5889 URL <https://www.japan-eyewear-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 真也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼管理部長 (氏名) 柴田 俊一 TEL 03 (6411) 0919
 四半期報告書提出予定日 2024年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第1四半期の連結業績 (2024年2月1日～2024年4月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期第1四半期	3,861	32.3	1,195	57.4	1,102	68.4	736	150.2	736	394.5	766	154.3
2024年1月期第1四半期	2,918	29.7	759	184.3	654	654.2	294	—	148	—	301	—

	EBITDA※		基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年1月期第1四半期	1,591	43.0	30.76	30.16
2024年1月期第1四半期	1,113	85.1	12.98	12.76

※EBITDA=営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費

(注) 当社は、2023年9月30日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年1月期第1四半期	35,276	13,581	13,581	38.5
2024年1月期	34,766	13,270	13,270	38.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2025年1月期	—				
2025年1月期 (予想)		22.00	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年1月期の連結業績予想 (2024年2月1日～2025年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		EBITDA		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,960	10.6	4,300	16.2	3,900	18.3	2,680	13.4	2,680	20.9	5,900	13.9	111.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年1月期1Q	23,944,260株	2024年1月期	23,944,260株
② 期末自己株式数	2025年1月期1Q	－株	2024年1月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年1月期1Q	23,944,260株	2024年1月期1Q	11,480,020株

(注) 当社は、2023年9月30日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 当社グループは、国際会計基準を適用しております。
- (2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (3) 2024年6月13日に当社ウェブサイト (<https://www.japan-eyewear-holdings.co.jp/>) に決算説明資料を掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	3
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	4
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報)	8
(1株当たり利益)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、世界を代表する眼鏡生産地「福井・鯖江」の熟練したクラフトマンシップにより自社で企画・デザインする高品質のアイウェアを製造し、ブランドの世界観を表現した独自の店舗を中心に販売しております。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2023年5月に「新型コロナウイルス感染症（いわゆる2類相当）」が「5類感染症」へ移行したことにより、社会経済活動は正常化に向かったことに加えて、雇用や所得環境改善に伴う個人消費の持ち直しや訪日外国人の増加などが国内景気を下支えしております。一方で、国際情勢の不安定化、円安傾向に伴う物価上昇などもあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下で当社グループは、「顧客数回復による売上増加」、「フレーム販売価格の見直し」、「国内外における新規出店の推進」を軸として事業展開を継続しており、当社グループの主要ブランドである金子眼鏡、フォーナインズともに国内外のお客様から高い支持をいただいております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益3,861百万円（前年同期比32.3%増）、営業利益1,195百万円（前年同期比57.4%増）、税引前四半期利益1,102百万円（前年同期比68.4%増）、四半期利益736百万円（前年同期比150.2%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における事業セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりであります。

〔金子眼鏡〕

金子眼鏡グループでは、国内個人消費の回復やインバウンド需要の拡大により、店舗販売が引き続き堅調に推移しています。インバウンド顧客向け店舗販売は2022年10月以降急速に回復しコロナウイルス感染拡大前を超える水準を継続しております。また、当第1四半期連結累計期間において新規出店計6店舗（国内5店舗、海外1店舗）、近隣好立地への移転などによる退店3店舗を実施した結果、店舗数は86店舗（国内82店舗、海外4店舗）となりました。2024年4月には、中国・上海において中国2号店となる思南公館店をオープンしました。

以上の結果、金子眼鏡事業の売上収益は2,526百万円（前年同期比32.1%増）、セグメント利益は924百万円（前年同期比46.0%増）となりました。

〔フォーナインズ〕

フォーナインズグループでは、前連結会計年度に続き2024年2月にフレーム販売価格を改定したことに加え、直営店における国内顧客の回復及びインバウンド顧客の増加と相俟って、店舗販売は順調に推移しています。また、当第1四半期連結累計期間において国内新規出店1店舗を実施し、店舗数は16店舗（国内15店舗、海外1店舗）となりました。卸売事業についても、2024年4月に実施した新型商品展示会において国内、海外ともに前期を上回る受注額を獲得しております。さらには、コスト改善にも継続的に取り組んでおり、人件費、広告宣伝費をはじめとした費用支出の見直しを行い、環境変化に対応しやすい経営体質への転換を継続して行っております。

以上の結果、フォーナインズ事業の売上収益は1,335百万円（前年同期比32.6%増）、セグメント利益は393百万円（前年同期比61.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ510百万円増加し、35,276百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が189百万円減少、有形固定資産が243百万円増加、使用権資産が496百万円増加したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ198百万円増加し、21,694百万円となりました。これは主に、未払法人所得税が352百万円減少、リース負債（流動）が158百万円増加、リース負債（非流動）が339百万円増加したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末に比べ311百万円増加し、13,581百万円となりました。これは主に、四半期利益736百万円を計上、配当金454百万円の支払をしたことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月期の連結業績予想につきましては、2024年3月13日に公表した数値から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,426	4,237
営業債権及びその他の債権	1,150	1,042
棚卸資産	1,497	1,568
その他の流動資産	165	172
流動資産合計	7,240	7,021
非流動資産		
有形固定資産	2,655	2,899
使用権資産	2,688	3,184
のれん	13,899	13,899
商標権	5,897	5,897
その他の無形資産	363	357
その他の金融資産	1,883	1,919
繰延税金資産	116	74
その他の非流動資産	22	23
非流動資産合計	27,526	28,254
資産合計	34,766	35,276
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	428	489
1年内返済予定の長期借入金	950	950
リース負債	1,033	1,192
未払法人所得税	770	418
契約負債	445	405
その他の流動負債	665	728
流動負債合計	4,293	4,184
非流動負債		
借入金	12,772	12,785
リース負債	1,703	2,042
引当金	37	37
繰延税金負債	2,189	2,143
その他の非流動負債	500	500
非流動負債合計	17,202	17,510
負債合計	21,495	21,694
資本		
資本金	900	900
資本剰余金	10,529	10,075
利益剰余金	1,774	2,511
その他の資本の構成要素	66	95
親会社の所有者に帰属する持分合計	13,270	13,581
資本合計	13,270	13,581
負債及び資本合計	34,766	35,276

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)
売上収益	2,918	3,861
売上原価	644	843
売上総利益	2,274	3,017
販売費及び一般管理費	1,520	1,826
その他の収益	5	6
その他の費用	0	1
営業利益	759	1,195
金融収益	0	1
金融費用	105	94
税引前四半期利益	654	1,102
法人所得税費用	359	365
四半期利益	294	736
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	148	736
非支配持分	145	—
四半期利益	294	736
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	12.98	30.76
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	12.76	30.16

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)
四半期利益	294	736
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	—	—
純損益に振り替えられることのない項目合計	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	6	29
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	6	29
税引後その他の包括利益	6	29
四半期包括利益	301	766
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	152	766
非支配持分	148	—
四半期包括利益	301	766

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				合計	非支配 持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2023年2月1日残高	10	5,086	△443	23	4,676	4,404	9,081
四半期利益	-	-	148	-	148	145	294
その他の包括利益	-	-	-	3	3	3	6
四半期包括利益合計	-	-	148	3	152	148	301
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	-
所有者との取引額等合計	-	-	-	-	-	-	-
2023年4月30日残高	10	5,086	△294	27	4,828	4,553	9,382

当第1四半期連結累計期間(自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				合計	非支配 持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2024年2月1日残高	900	10,529	1,774	66	13,270	-	13,270
四半期利益	-	-	736	-	736	-	736
その他の包括利益	-	-	-	29	29	-	29
四半期包括利益合計	-	-	736	29	766	-	766
剰余金の配当	-	△454	-	-	△454	-	△454
所有者との取引額等合計	-	△454	-	-	△454	-	△454
2024年4月30日残高	900	10,075	2,511	95	13,581	-	13,581

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	654	1,102
減価償却費及び償却費	353	396
受取利息及び受取配当金	△0	△1
支払利息	105	94
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△36	109
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△171	△44
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△56	△71
その他	84	75
小計	933	1,661
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△91	△81
法人所得税の支払額	△740	△721
営業活動によるキャッシュ・フロー	102	859
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△127	△265
無形資産の取得による支出	△0	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△20	△41
敷金及び保証金の回収による収入	6	3
資産除去債務の履行による支出	△0	—
その他	—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140	△303
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△292	△325
配当金の支払額	—	△454
財務活動によるキャッシュ・フロー	△292	△780
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	34
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△321	△189
現金及び現金同等物の期首残高	2,209	4,426
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,887	4,237

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会（最高経営意思決定者）が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、主に眼鏡製品を販売しており、2つのブランドカテゴリー（金子眼鏡、フォーナインズ）を中心に事業活動を展開しています。そのうえで、各ブランドの責任者が、ブランドごとに幅広い権限と、売上・利益への責任を持ち、機動的な意思決定を行っていることから、当社のセグメントはブランドを主として「金子眼鏡事業」「フォーナインズ事業」の2つを報告セグメントとしています。

「金子眼鏡事業」は、金子眼鏡ブランドにおけるブランドカテゴリー別事業を包括しています。

「フォーナインズ事業」は、フォーナインズブランドにおけるブランドカテゴリー別事業を包括しています。

セグメントの会計処理の方法は、当社グループの会計方針と同じであります。報告セグメントの利益は、要約四半期連結損益計算書上の営業利益であります。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2023年2月1日 至 2023年4月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	金子眼鏡	フォーナインズ	計		
売上収益					
外部収益	1,911	1,006	2,918	—	2,918
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	1,911	1,006	2,918	—	2,918
セグメント利益	632	243	876	△117	759
金融収益	—	—	—	—	0
金融費用	—	—	—	—	105
税引前四半期利益	—	—	—	—	654
その他の項目					
減価償却費及び償却費	252	95	347	5	353

(注) セグメント利益の調整額△117百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	金子眼鏡	フォーナインズ	計		
売上収益					
外部収益	2,526	1,335	3,861	—	3,861
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	2,526	1,335	3,861	—	3,861
セグメント利益	924	393	1,317	△121	1,195
金融収益	—	—	—	—	1
金融費用	—	—	—	—	94
税引前四半期利益	—	—	—	—	1,102
その他の項目					
減価償却費及び償却費	282	107	390	5	396

(注) セグメント利益の調整額△121百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり利益)

基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

(第1四半期連結累計期間)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	148	736
四半期利益調整額(百万円)	—	—
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益(百万円)	148	736
加重平均普通株式数(千株)	11,480	23,944
普通株式増加数		
新株予約権(千株)	197	473
希薄化後の加重平均普通株式数(千株)	11,677	24,418
基本的1株当たり四半期利益(円)	12.98	30.76
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	12.76	30.16

(注) 当社は、2023年9月30日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。